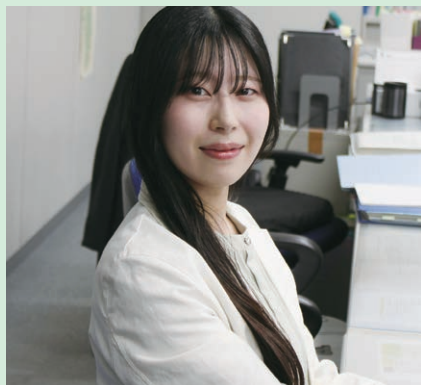


若手

採用から2、3年目を迎えた職員に インタビューしました。

01

健康福祉部
健康福祉課
一般職員



Q 東北厚生局に決めた理由を教えてください

東北厚生局に決めた理由は、業務説明会や座談会をとおして厚生行政に興味を持ったからです。厚生行政は生活に密接に関わるものであることを意識するようになり、私も各ライフステージで人々の暮らしを支える業務に携わりたいと考えるようになりました。

また、座談会に参加した際に雰囲気がとても良く、働きやすそうな印象を受けたことや、働き方(休暇や勤務地など)が自分のイメージするものと近かったことも理由の一つです。ぜひ業務説明会などに参加して、東北厚生局に興味を持っていただけると嬉しいです。

Q 採用後を振り返ってみて

1・2年目は医事課に所属し、主に臨床研修と臨床研究を担当していました。

はじめは業務内容はもちろん、公務員として、社会人として分からないことばかりでしたが、上司にサポートしていただきながら徐々に慣れることができました。また届出処理等のルーティンワークの他、病院

への実地調査やワークショップの運営等をととして、たくさんのことを学ぶことができました。

現在は健康福祉課に所属しており、補助金の執行業務を行っています。昨年度までの業務とは全く異なるため、補助金について一から勉強の日々です。お金を扱う緊張感と責任感を感じながら業務に取り組んでいます。

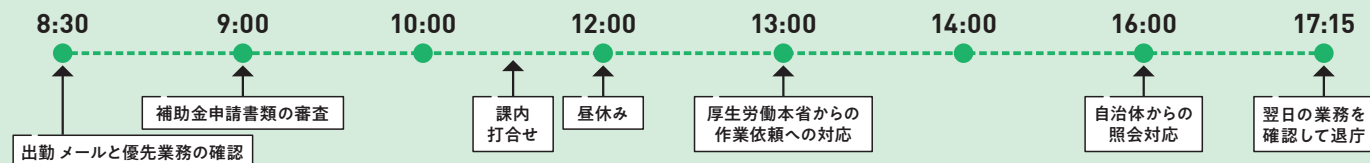
Q 職場の雰囲気はどうですか？

雰囲気が良く働きやすいと思います。座談会で感じた雰囲気と実際に働いてみて感じた雰囲気があまり変わらなかったのが安心した覚えがあります。

何か対応に悩むことがあっても周囲の方が丁寧に教えてくださいますし、進捗状況や困っていることがないか気にかけてくださるので、自分だけで抱え込むことなく働くことができます。

また月1日以上の休暇取得が推奨されており、課内での声掛けもあるため、休暇をとりやすい環境だと思います。繁忙期は残業することもあります、メリハリをつけてしっかりとプライベートの時間を確保することも魅力の一つです。

1日のスケジュール



02

指導部門
医療課
一般職員



Q 東北厚生局に決めた理由を教えてください

元々、大学では災害復興に関する研究をしていましたが、その過程で厚生労働省の施策の一つである死因究明等の推進について関心を持つようになり、医療行政というものに携わりたいと感じるようになりました。そこで東北厚生局の業務説明会に参加し、局で働く職員の方々の雰囲気の良さを感じて、東北厚生局で働くことを決めました。

入局して1年が経ちますが、今でも変わらず温かい職場だと感じています。

Q 採用後を振り返ってみて

1年という短い期間でしたが非常に貴重な経験が出来ました。

医療保険に関する知識がほぼゼロの状態で入局し、初めは目につく業務すべてが分からない状態でしたが、研修の機会も多く、課の方々に制度の仕組みから丁寧に教えて頂けたため、様々な知識を身につけることが出来ました。

共同指導の担当になり、採用から半年ほどで、一人で出張に行ったり、大学病院への立入検査に同行し、病院長相手に聞き取り調査を行うなど、入局前には想像もしていなかった業務を色々と経験させていただき、課の方々にとても感謝しています。

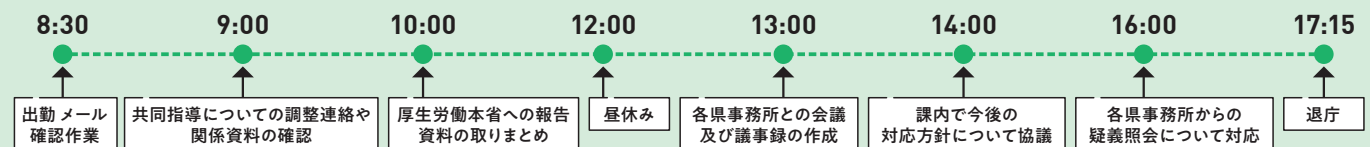
Q 職場の雰囲気はどうですか？

入局前に感じていた通りの温かい職場です。想像していたような公務員の堅苦しいイメージみたいなものではなく、皆さん明るく、上司の方々含め冗談を言えるような職場です。

また、月に一度の年休取得の奨励や、テレワークの活用、フレックスタイム制度等により、ワークライフバランスの充実にもかなり力を入れている職場なので、とても働きやすいです。

医療や福祉、年金など、様々な分野を所管している機関のため、業務内容が難しそうな思われるかもしれませんが、知識ゼロからでも、職場の皆さんがサポートしてくれるので、心配しなくても大丈夫です。少しでも興味があれば、是非業務説明会にいらしてください。皆さんと一緒に働くことを楽しみにしています。

1日のスケジュール



03

総務部門
年金審査課
一般職員

Q 東北厚生局に決めた理由を教えてください

業務説明会や座談会に参加した際の職員の方々の雰囲気の良さが一番の決め手でした。様々な官庁の業務説明会に参加しましたが、中でも東北厚生局の職員の皆様の和やかな雰囲気に惹かれて、入局を決めました。

また、厚生局は医療、介護、福祉、年金など、私たちが生きていくうえで切っても切り離せない重要な部分を幅広く取り扱っています。そのため、たくさんの方の生活を裏方からサポートできるという点にも魅力を感じました。

そして個人的には、主な異動先が各県の県庁所在地であるという点も、東北厚生局の魅力的なところかなと思います。

Q 採用後を振り返ってみて

あっという間の1年でした。配属先の業務に必要な年金の知識だけでなく、社会人としてのマナーや常識にも自信がなく、毎日焦りと不安でいっぱいでした。最

初の頃は、特に何もしてないのにものすごく疲れていた記憶があります。ですが、上司の方の指導やサポートのおかげで、本当に少しずつではありますが、知識や出来るが増えてきたかなと思っています。また、年金は自分自身にも関係があることなので、その仕組みや知識を学べることはありがたいなと感じています。

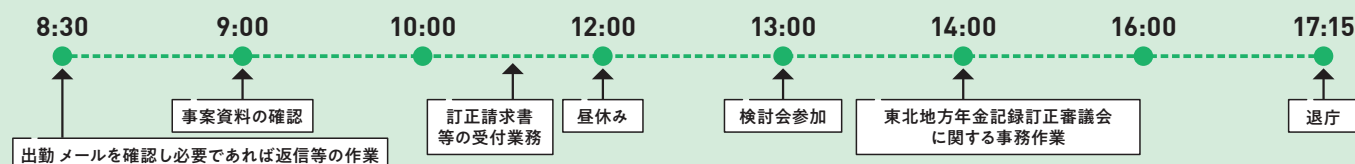
今後も様々な経験を積み重ね、多くのことを学び、成長できるようにがんばってまいります。

Q 職場の雰囲気はどうですか？

とても働きやすい雰囲気だと思います。分からないことや不安なことがあった際に、上司の方や周りの方に相談すると、親身になってアドバイスをくださるので、とてもありがたい環境だと感じています。

また、休暇を取得しやすい雰囲気があるのも働きやすいと感じる理由の一つです。入局してから毎月1日以上は休暇を取得できています。夏には、3日間の夏季休暇もあるので、年次休暇と合わせて長期で休暇を取得でき、帰省や旅行等で心身ともにリフレッシュすることができます。私生活とのバランスがとりやすい職場だと思います。

🕒 1日のスケジュール



04

指導部門
岩手事務所
一般職員

Q 東北厚生局に決めた理由を教えてください

地域共生社会の実現に貢献できると考えたからです。東北で生活する中で、地方の人口減少・高齢化を身近に感じていました。地域に住むすべての人が住みやすい社会を実現するための、包括ケアシステムの構築に携わりたいと感じ志望しました。

また、業務説明会に参加し、医療・福祉・年金など私たちの生活に身近な社会保障に関する面で、国民生活を支えてできる点に魅力を感じ志望しました。加えて、説明会に参加した際、職員の方が親身に対応してくださったことも理由の一つです。

Q 採用後を振り返ってみて

1年目、2年目は総務課に所属し、健康診断や年金の記録に関する業務など、職員の方の福利厚生に関する業務を担当しておりました。

初めのうちは分からないことが多く、自分の業務や電話対応等で苦慮する場面が多くありましたが、上司

や周りの方々の助けもあり、少しずつ仕事に慣れることができました。

また、総務課というと局内の職員のみとのやりとりをイメージされるかと思いますが、医療機関等、局外の方とやりとりをする場面もあり、今後どの業務に携わるにしても活かせる経験ができ、勉強になった2年間でした。

Q 職場の雰囲気はどうですか？

温かく、働きやすい環境です。分からないことがあれば、頼りになる上司や周りの方がサポートしてくださり、親身に相談に乗ってくださるので、毎日安心して仕事に取り組んでいます。また、月1回の休暇を取得することが推奨されております。課内でも休暇取得の声がけがあり、職場全体として休暇を取りやすい仕組みがあるため、プライベート時間も確保することができ、メリハリをつけて仕事ができる点も魅力だと思います。

🕒 1日のスケジュール

